

台湾連携ものづくり・新ビジネス創出事業

－台湾向けパッケージデザインの研究－

New “Monozukuri” business in collaboration with Tiwan
-on package-design for Taiwan-

工藤 洋司、赤田 朝子、小野 大輔、鳴海 藍

本事業は、V-Cup の活用範囲を拡張し、台湾市場を目指す県内ものづくり事業者の人材育成と商品開発を支援することを目標に実施した。

台湾市民の好む配色を知るため、住空間で使用する配色の調査を実施した。その結果、住宅内のアクセントとなる色として赤色や黄色、黄緑色が中華圏らしい配色で広く用いられていることが特徴的であり、日本の色に関する嗜好との違いが確認された。調査結果は今後の台湾向け V-Cup のデザイン支援に基盤情報として活用できる。

V-Cup 手法の普及では、県内事業者 2 社が V-Cup を活用して当所研究員と共に台湾向け商品のプロモーションツールをデザインし、パッケージ等の試作を行った。また、V-Cup の有効性を検証する為に、台湾セレクトショップで 2 社の試作品の展示調査を実施した。当初提案した日本的高级デザイン（図 1. b）と台湾アドバイザーの意見を取り入れた改良デザイン（図 1. c）を比較展示し、台湾市民にアンケート調査を実施した結果、改良デザインが高評価を受け、本事業の効果が確認された。日本と台湾の市場での嗜好の差異がわかり、台湾市場に向けた V-Cup の活用のポイントが明らかとなった。

海外組織との連携による現地向けデザイン開発では、コロナ禍による海外展示会開催という初のチャレンジを実施することとなったが、WEB などを活用してワークショップ（写真 1）、意見交換会、現地での展示会開催に成功した。県内中小企業事業者が海外でビジネス展開する際に活用できる新たな展示会開催方法を構築できた。（図 2. a, b）

- 台湾市場デザイン開発 参加企業：カネショウ株式会社（加工食品）、小林漆器（漆器）
- 台湾住宅配色調査：15 軒

